



歴史にまつわる **ブラサンポ**



テレビでも、街をぶらりお散歩して、その土地の歴史を学ぶ番組があるように、歩いて巡ってみることで、その街の違った一面に気づくことができます。普段の場所に対する気づきにも、観光としても歩いてみることはおすすめです。ここでは、歴史に関することからを中心に、街歩きによる巡り方の魅力を伝えます。

●ガイドの方とともにぶらり

街歩きを通して地域の歴史に触れたいけど、知らない土地を自分だけで歩くのは不安だという方は、歴史ガイドの方と一緒に歩いてみるのはいかがでしょうか。

県内だと、那覇市で行われている「まちま〜い」が有名ですが、各市町村でガイド付きの街歩きは盛んに行われています。各地域の観光協会などの情報をチェックして、興味ある地域の事例を確認してみてください。

●有名な史跡や公園内をぶらり

首里城といった世界遺産に指定されたグスクは、訪れる方も多いと思いますが、ただ敷地内を通り過ぎているだけになっていませんか？ ある程度、事前知識を入れた上で尋ねてみたり、いろいろなところに設置された看板をじっくり読んでみたりすることも面白いかもしれません。説明看板には二次元コードが貼られていることがあり、それを読みこんでスマホから情報を見ることができる場合もあります。また、世界遺産などでもガイドの方と回ることができます。なお、費用の有無や事前予約が必要かなどは、場所によって異なります。

特定の場所ではないですが、昔の街道であった「歴史の道」とされているところを歩いてみることもおすすめです。整備状況は場所によってまちまちですが、当時の石畳が残るといった道も存在します。

そして、公園を歩くことでも、歴史的なものに出会えるかもしれません。公園にある一瞬見ただけでは、よく分からない石碑が、かつての重要な場所だったことを示しているかもしれません。また大小にかかわらず、何かしらの御嶽や史跡がある為に、その場所が公園とされている場合もあります。そして、沖縄県総合運動公園には、敷地内に建設用地協力者の氏名を刻んだ石碑があり、公園自体の歴史に触れることができます。

●琉球大学をぶらり

広大な敷地を持つ琉球大学も、実は構内に史跡などが多く存在します。

琉大図書館ホームページ内にある「職員コラム『きじむんのどうーちゅいむにー』」(<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/okinawa/kijimun/>)から、関連コラムやマップの内容をご参照ください。講義の間のリフレッシュがてら、お散歩してみてもはいかがでしょうか。なお、立ち入り禁止の史跡などもありますのでご注意ください。

●本や動画を参考にぶらり

本といっても、街歩きの参考になるのはガイドブックだけではありません。2014年の出版ですが、『沖縄県の歴史散歩』という本では、各地の史跡などの説明だけでなく、巡るための参考ルートもついています。他にも、かつて存在した軽便鉄道関連のものや、湧き水に特化したものなど、街歩き関連の本は種類豊富です。

動画に関しては、琉大図書館のYouTubeチャンネルにて関連動画があげられています。なお、長距離のルートであるため、可能な方だけ参考にしてください。

琉球大学附属図書館公式 YouTube チャンネル「【なんじょうデジタルアーカイブコラボ企画】間得大君の就任儀礼「御新下」を歩いてみた！ 首里城から斎場御嶽まで約 20 km の旅」

<https://www.youtube.com/watch?v=HAwAxSCDDMc>

！注意事項

どこを歩くにしても水分・ミネラル補給は重要です。特に暑い時期は無理をしないようにしてください。

ルートをご自身で決める場合は、距離のことだけでなく高低差や坂、道の舗装状況なども考慮してください。痛い目を見ます。また、街中の路地を歩く場合などは、住民の迷惑にならないようにしましょう。

安全に留意して、街歩きを楽しみましょう！

参考

沖縄県の歴史散歩編集委員会編(2014)『沖縄県の歴史散歩』山川出版社。

「ガイドと歩く 那覇まちま〜い」<https://book.naha-navi.or.jp/>(最終閲覧:2023/12/15)。